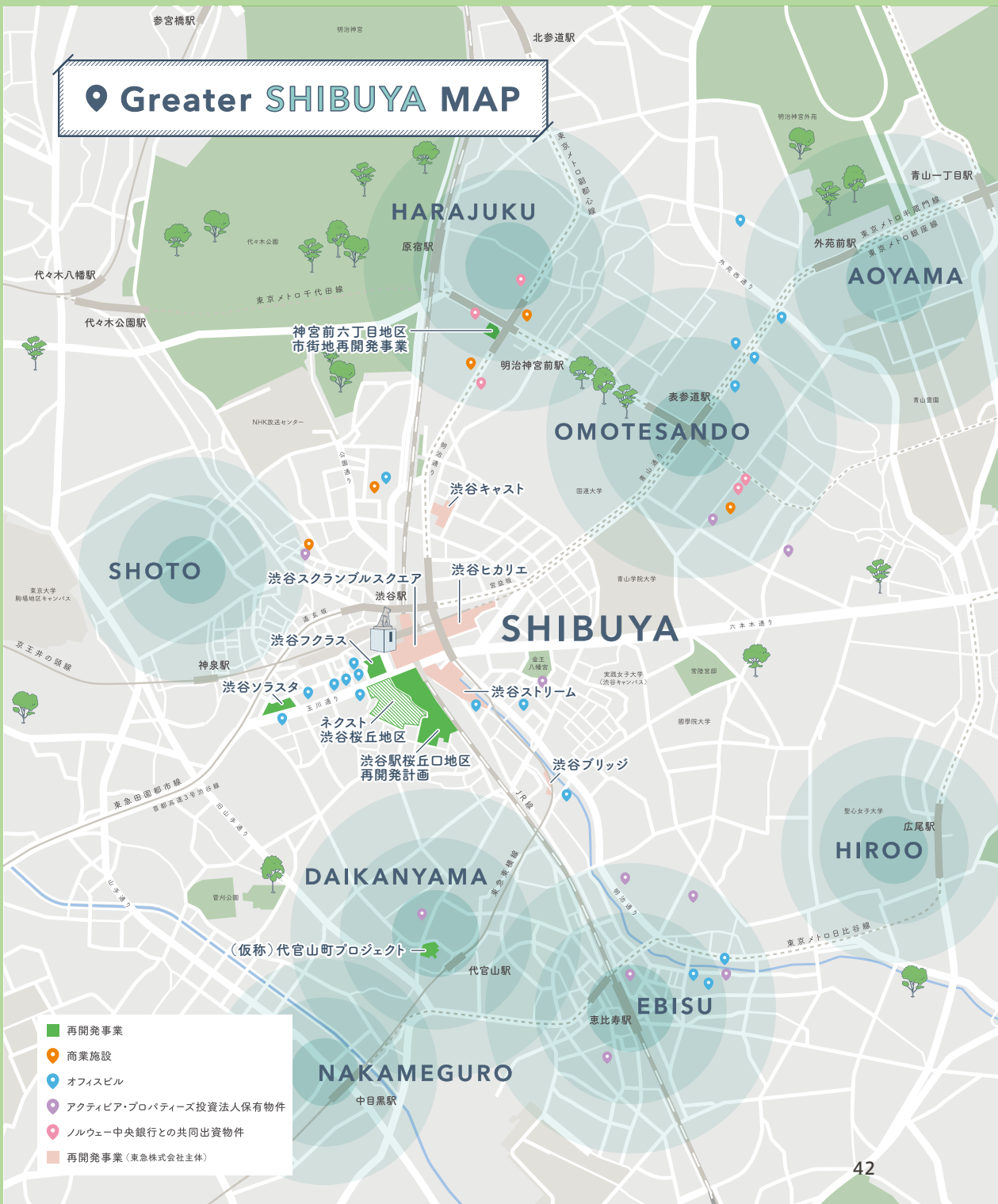


# Greater SHIBUYA MAP



## 特集 広域渋谷圏構想

# 広域渋谷圏の多様性を活かした価値創造



**神宮前六丁目地区市街地再開発事業**  
(2023年度竣工予定)

**自然と人工の共存で未来へつなげる**

ファッションブルな生活文化を創造する原宿・表参道エリアにおいて、新たなランドマークとなる商業施設を整備し、にぎわいを形成します。周辺の住環境にも配慮した再開発で、エリアのさらなる魅力向上に寄与します。

完成予想図



**渋谷駅桜丘口地区再開発計画**  
(2023年度竣工予定)

**国際都市・渋谷を代表する複合施設へ**

駅南西部の広大な敷地に、魅力あるオフィス・商業・住宅空間を創出します。街の利便性・快適性・安全性の向上を図るとともに、グローバル対応の生活支援施設や企業支援施設なども整備。街の国際競争力強化に貢献します。

完成予想図



**(仮称)代官山町プロジェクト**  
(2023年度竣工予定)

**緑でつながる新たな「住・働・遊」**

独特の存在感と個性を放つ代官山に、住宅・オフィス・商業施設で構成される緑豊かな複合施設を建築します。「住・働・遊」がシームレスに融合し、施設全体が生活の場となる新たなライフスタイルを提案します。

完成予想図

※ 本MAPは広域渋谷圏の中心部を示しています

## 特集 広域渋谷圏構想

### 「Greater SHIBUYA 2.0」で、 広域渋谷圏構想を次のフェーズへ

私たちは、渋谷駅周辺エリアを、グループの重点拠点と位置づけています。この渋谷のまちづくりを「点」から「面」へと広げ、エリア全体のポテンシャルを高めていく一連の施策が「広域渋谷圏構想 (Greater SHIBUYA 1.0)」です。

2021年7月には、東急(株)と東急不動産で、「1.0」のビジョンを進化・深化させた新戦略「Greater SHIBUYA 2.0」を策定しました。今後は、国際医療施設や起業支援施設を整備し、国際競争力の強化を図る都市機能を導入。職・住・遊の3要素を融合し、「デジタル」「サステナブル」の取り組み強化によって、渋谷型都市ライフの実現をめざします。



2027年頃の渋谷駅周辺完成イメージ

### 職・住・遊が融合した 渋谷らしいライフスタイルを提案

100年に一度といわれる渋谷再開発は、佳境を迎えています。2019年に竣工した「渋谷フクラス」では周辺との一体開発により、駅との連絡デッキなどを整備。路上荷捌き車両の解消などにも貢献しました。2023年度には「渋谷駅桜丘口地区再開発計画」の竣工も控えています。これらの事業によって職・住・遊の新たなスタイルを提案し、人や企業を惹きつける渋谷ならではの都市づくりを加速させます。

働き方については、コロナ禍を機にテレワークやサテライトオフィスなど、多様な選択肢が広がっています。反面、人とのつながりが希薄になるデメリットも指摘されています。ビジネスには対話を誘発し、イノベーションを生み出す場所が欠かせないと私たちは考えます。帰属意識や組織力の強化を図るためにも、オフィスは今後も重要な役割を担い続けると認識しています。環境課題への取り組みとしては、2021年4月、広域渋谷圏のオフィスビル・商業施設の計14施設で使用電力を、再生可能エネルギー利用に切り替えました。

### エリアブランディングで、 広域渋谷圏の魅力を最大化する

再開発事業などの都市開発と並行して、私たちは渋谷の価値を最大化するためのエリアブランディングを展開しています。2021年4月には、広域渋谷圏での起業やコミュニティの連携を促すことで街の魅力を高める「未来シェアリング」という戦略コンセプトに基づく活動を開始しました。その第一弾として、渋谷区桜丘町に設けた「ニュートラル・イノベーション・ベース」という拠点にスタートアップを誘致。入居企業を中心としたコンソーシアムを設立し、人材・技術の交流による革新的な事業創出や多世代間の学びなどをサポートしています。



「未来シェアリング」の第一弾として多業種連携をスタート